

各施設の取り組み

七沢自立支援ホーム 福祉棟へ

神奈川県総合リハビリテーションセンターの七沢学園と七沢自立支援ホームは、昭和48年の開設以来、それぞれの建物で運営されていましたが、この6月から「福祉棟」の中で運営されることになりました。



福祉棟全景

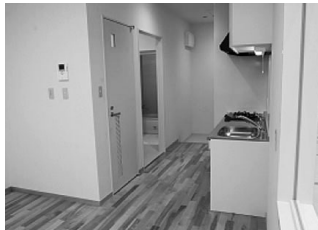
1階北東側は自立支援ホーム(肢体)の日中プログラムエリア。機能訓練室・パソコン室・調理室のほか、ワンルームタイプの宿泊実習室や、屋外には移動訓練コースも設置されました。



機能訓練室



調理室



宿泊実習室

2階北側は七沢自立支援ホーム(視覚)エリア。総て一人部屋で、今後の地域生活に向けたバス・トイレ付きもあります。また点字や歩行・パソコン・日常・感覚・レクリエーション等を行う訓練室も近くに配置され、使い勝手が更

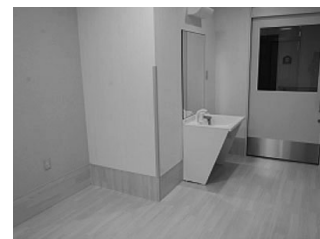


日常訓練室

に向上しました。

3階の南側は自立支援ホーム(肢体)の居住エリア。一人部屋が基本で、リフト・トイレ付きもあります。浴室には一般家庭で使われる浴槽を複数設置し、またトイレも総て個室で地域生活を意識しました。中央には食堂・ラウンジ、車いすで入れるバルコニーもあります。

身近になった訓練室で専任のPT・OTや生活支援員からアドバイスを受けながら、仲間と共に励み、地域生活を意識した居住エリアで応用練習、そして地域へ。そのプロセスの中で生きがいのある社会参加を共に考



居室



浴室

えながら、地域での生活拠点探し・住宅改造、そして支援体制作りをお手伝いします。

特に全国へ発信してきた「社会生活力プログラム(障害があっても自分らしい生活を考える各種プログラム)」も、新たな環境で更に展開させて行きたいと考えています。

今後ともご助言宜しくお願い致します。

社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団
七沢自立支援ホーム 副所長 青木一男

保護観察中の人の社会貢献活動への協力

当施設では、開所した平成11年より法務省保護局が行っている保護観察対象者の社会貢献活動(当時の名称は社会参加活動)として施設での仕事を体験して頂くことを随時行ってきました。

対象者の方が社会の役に立つ経験をして、社会に円滑に復帰していけることに社会福祉法人として協力ができることがあるのであればとの思いで、活動場所の提供をしています。

現在の受け入れは半日程度のもので、入所者や通所者がどのように施設で過ごされているかを知ってもらい、可能であれば活動などに一緒に参加してもらうことで利用者の方とのコミュニケーションをとってもらっています。

受け入れ中は保護観察官や保護司の人も立ち会い、一緒に体験してもらっています。わずかな時間ではありますが、来られる対象者の皆さんが、最初は戸惑いながらも利用者

さんと触れ合うことで緊張がほぐれて、帰るころには笑顔で利用者さんとお話している姿が実に印象的です。

残念なことながら、一般的には日常生活で障害のある人とふれあう機会は多くないと思います。この仕事をしている私たちは日常的に接して、この仕事の意味や価値を知っています。その意味や価値を少しでも対象者の皆さんに伝えることが大切なことと思ひ、体験の終わりには活動の振り返りを聴き、感想をお話しさせてもらっています。

保護観察中の人が社会貢献活動をする場所として受け入れをしていますが、当施設としても社会貢献の一環となっています。ここに来て感じたこと、ここで働いている人の姿をみて感じたことが、対象者の皆さんの立ち直りにつながることを期待してやみません。

社会福祉法人 至泉会 ソーレ平塚 島田 哲

